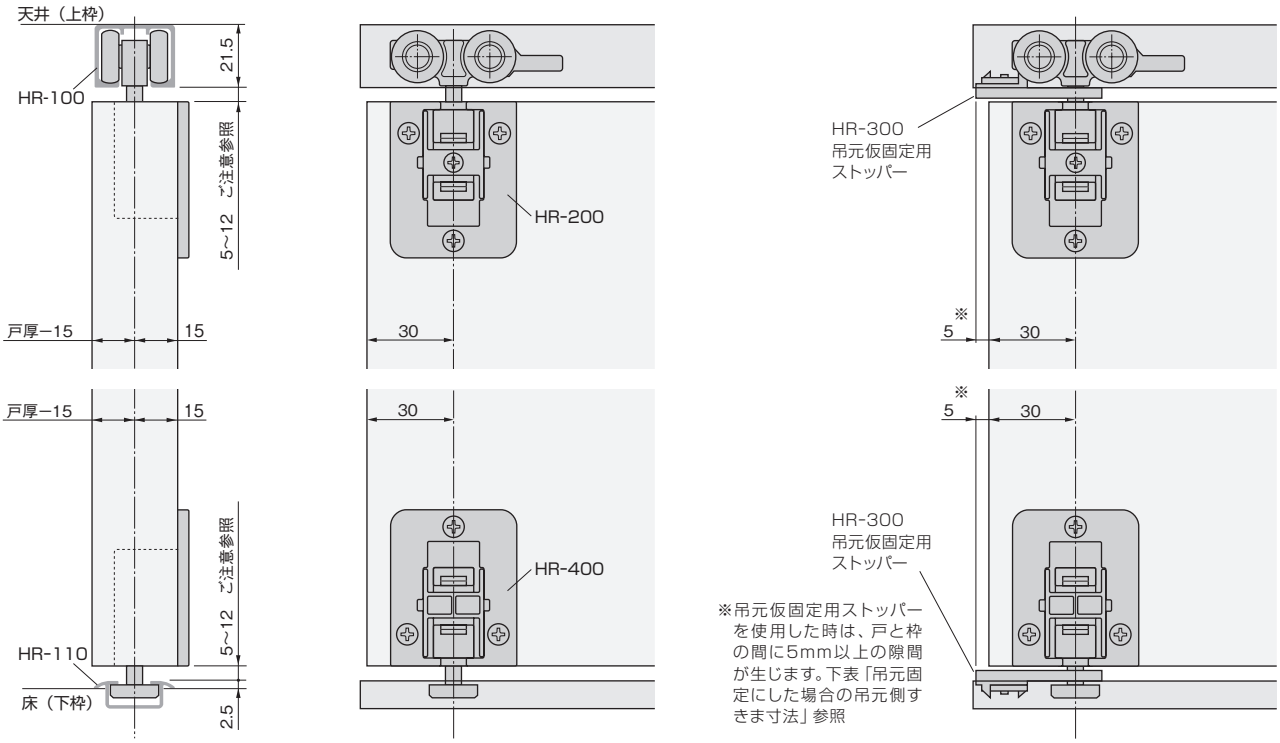
設計ガイド

■金具の納まり参考図

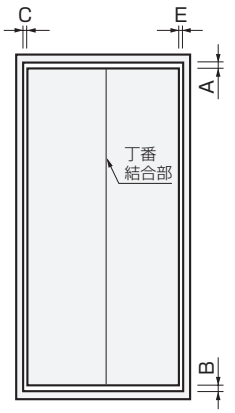
フリーオープンタイプ
（吊元仮固定用ストッパーを使用しない場合）

吊元仮固定タイプ
（吊元仮固定用ストッパーを使用する場合）



※吊元仮固定用ストッパーを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠（またはレール）との必要すきま寸法



●上下のすきま（レールと戸の間のすきま）

A=上レールと戸とのすきま寸法=5～12
B=下レールと戸とのすきま寸法=5～12

●左右のすきま（折戸1組の場合）

C+E（フリーオープンタイプで吊元仮固定ストッパーを使用しない場合）
使用丁番：HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	3.0	2.6
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

C+E（吊元固定の場合）
使用丁番：HD-35

戸厚/戸幅	400	450
26	7.2	6.9
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

CまたはEを吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法

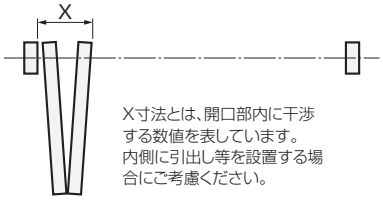
戸　厚	C（またはE）
26	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。
※以上の左右すきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの設定で大丈夫です。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法（=10mm）、あるいは最大値どうしを足した寸法（=24mm）に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
10mm<上下のすきま<24mm
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



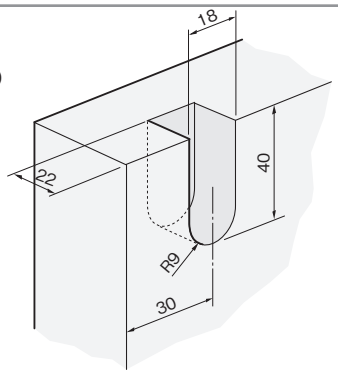
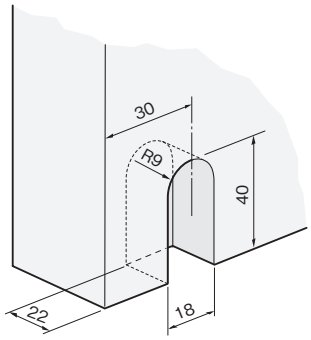
X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出し等を設置する場合にご考慮ください。

●吊元仮固定ストッパーを使用しない場合
戸厚26～35mmの場合の X=戸厚+92mm
戸厚36～40mmの場合の X=戸厚×2+55mm
●吊元仮固定ストッパーを使用する場合
戸厚30～33mmの場合の X=戸厚+105mm
戸厚34～40mmの場合の X=戸厚+100mm+吊元側すきま寸法

※上記計算式は、「使用丁番 HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から 30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車（HR-200）
の取付け加工寸法



下部ガイド（HR-400）
の取付け加工寸法